

分科会Ⅳ

9:30~10:30

アジアとの連携を画策した 日本人の偉業 ~歴史に埋もれた真実をほり起こす~

・アジアの玄関は福岡、その背景は
の飢餓を救った日本人
・巨大な資産を売却してインド
・東京オリンピックを成功させた日本人

作家、文芸評論家、書評家

浦辺 登 氏

昭和31年、福岡県生まれ。福岡大学ドイツ語学科在学中から雑誌等への投稿を行なう。学生時代、ベルリンの壁を単独で越えた体験が文章を書く動機づけになる。インターネット書評のbkk1では「書評の鉄人」の称号を得る。平成21年、オランダ系生命保険会社を退職後、執筆活動、講演活動に入る。



地方が持っている底力は、 こうやって引き出せ!

カンブリア宮殿も取り上げた! 年間140万人が訪れる道の駅!
国土交通省全国モデルの6駅に認定!

萩しーまーと 駅長

中澤 さかな 氏

1957年滋賀県生まれ。関西学院大学卒業後リクルートに入社。住宅情報誌の編集長をへて動続20年で早期退職定年退職。2000年全国公募で「道の駅 萩しーまーと」駅長就任。今では約20の自治体で道の駅関連の事業を手掛ける。活動はカンブリア宮殿など、多くのメディアに取り上げられる。地域活性化伝道師。



(株)税務調査対応特別室とは 一体何か!? -ひとり税理士の限界と真実-

優秀な元国税調査官+税法に強い弁護士+税理士の統合
税務調査に圧倒的に強い事務所のハウツーの開放

株式会社 税務調査対応特別室(とくしつ) 代表取締役

松浦 慎吾 氏

税理士の仕事を通じて、もっと世の中のために役に立ちたいという思いを持つ。一流の弁護士、一流の元国税調査官、そして各得意専門分野を持つ一流の税理士がひとつとなって、顧客満足を目指すべく「とくしつ」の責任者として、土業 300 名体制を目指し躍進中。



分科会Ⅴ

10:50~11:50

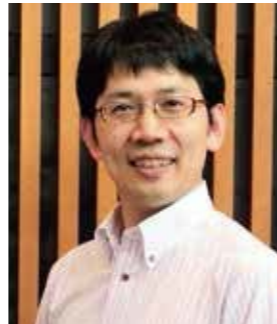
NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」出演 時代に抗う、信念の金融

未来を創る金融とは?
お金をいくら増やしても幸せにはなれない

鎌倉投信株式会社 取締役

新井 和宏 氏

東京理科大学工学部卒。友友信託銀行、パークレイズ・グローバル・インベスターズでファンドマネージャーとして何と数兆円を動かす。大病とリーマン・ショックをきっかけに、信奉してきた金融工学に則った投資のあり方に疑問を持つ。2008年11月、志を同じくする仲間と、鎌倉投信を創業。



ずっとここで働きたい!! っと 言われる会社を目指して...

障害者や高齢者が再び自立を実現する、まさに「再生」ビジネス

株式会社アップルファーム 代表取締役

渡部 哲也 氏

1968年仙台市生まれ。一人の障害者との出会いから働くことの幸せを学び、自分の役割を発見する。現在は、食を中心に障がい者の戦力化を計り、経済的自立を支援する株式会社アップルファーム代表のほか、東北復興プロジェクト「ロクファームアタラタ」の代表理事も務める。自身が経営する「六丁目農園」は6次産業化のビジネスモデルとして注目されている。



グローバル化での労務戦略とは? ~企業環境の変化に人事はどう対応すべきか~

生産年齢人口の減少が加速していくなか、外国人労働者の雇用は
中小企業にとっても必須の課題です。

社会保険労務士法人COMMITMENT 代表社員

北原 正 氏

1997年社会保険労務士資格取得。西南学院大学法学部卒業後、同大学院経営学研究科に進み、1年間フランスのビジネススクールに留学。帰国後、社会保険労務士法人COMMITMENTに入社。2015年代表社員就任。



特別講演

前講 13:00~14:10 後講 14:30~15:40

全社員の士気を高めて、主体性を引き出す経営人間学

正しい「経営判断」の指標 それは「自己人格」に 導かれた「価値観」の体得

経営上の失敗は、自己の価値観の誤りがすべての原因

グローバル化が加速を続ける現代社会において、これまでのビジネスにおける前提条件が、次々と崩壊を遂げています。今や、時代のニーズは驚くほどの速さで激変を続け、過去の常識を根底から覆すほどの要求の厳しさが、あらゆる企業に突き付けられているのです。

激変する時代のニーズに的確に応えて、新たな価値を創造する為には、目標管理の強化や、新たな経営上のテクニックを安易に導入するだけでは、到底、不可能であると謂えます。むしろ、経営トップを始めとする幹部・管理職の方々が、経営判断の拠り所とされている自己の価値観に着目する必要があります。

価値観とは、自分自身の中に無意識のうちに確立するに至った思考上の判断基準であり、あらゆる人間の思考と行動に、直接的な影響を及ぼす前提条件に他なりません。個々の人間には、独自の価値観が既に確立しています。その価値観に基き、外部からの情報を認識したり、理解した上で、自分自身がどのように行動すべきかを意思決定しているのです。

この自己の価値観に基く思考と行動が、自社の成果のみならず、その人の人生における現実をすべて生み出しています。従って、自分自身の自我の実態を明らかにした上で、自己人格に基く高い価値観を体得する事ができれば、目前の現実を抜本革新させる深い智慧と、限らない主体性を引き出す事が可能となります。自我人格からの脱却を図り、自己人格に基くマネジメントを体系にご体得頂く事が、経営人間学なのです。

竹内 日祥 上人

全日本経営人間学協会理事長
宗教法人妙見閣寺代表役員
公益法人ドイツ大聖恩寺理事長
総合学術国際研究所理事長
独・日統合学学会理事長
ヨーロッパ科学芸術アカデミー世界宗教部門正会員



2日目 21日(木)

グローバル 経営者フォーラム



基調講演Ⅱ

16:00~17:10

公益資本主義が 今、日本の経営に必要な理由

- ・「米国型資本主義」と「中国型国家資本主義」の問題
- ・経営者の影響力と責任
- ・これから迎えるシュリンク社会でできること
- ・企業の在り方が変わる
- ・経営において後悔しない「決断」のコツ
- ・日本発の「公益資本主義」の輸出
- ・「公益資本主義」の実践!!

大久保 秀夫 氏

株式会社フォーバル 代表取締役会長
公益財団法人CIESF 理事長

25歳で新日本工販株式会社(現在の株式会社フォーバル)を設立。1988年、当時の日本最短記録8年2ヶ月、史上最年少で店頭登録銘柄(現JASDAQ)として株式公開。法人クライアント数10万社、上場会社3社を含むグループ企業28社を抱えるベンチャーグループに成長させた。2010年に社長職を退き、代表取締役会長に就任。カンボジアにおける高度人材の育成支援「交易財団法人CIESF(シーセフ)」理事長も務める。他に、NPO法人元氣な日本をつくる会 理事長、一般社団法人公益資本主義推進協議会 代表理事、東京商工会議所特別顧問、中小企業国際展開推進委員会 委員長を務める。



大懇親会 17:30~ グランドハイアット 2F



- ・新たな出逢いの場
- ・未来の可能性へ
- ・豪華プレゼント有り

